

2 目標達成計画

作成日: 令和3年3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成に係るプロセスが各棟で異なり、情報共有ができていない。また、現在の計画作成までの使用している各種様式では情報量不足が生じているため、より良く暮らすための介護計画書になっていない。	現状に即した(良く暮らすための)介護計画書を作成することができる。	1. 計画作成担当者の役割を理解する。 2. 全職員で介護計画に関わりを持てる体制作り。 3. 計画作成担当者が同じ様式でスムーズに作成できるシステム導入の検討。	3か月
2	13	1. 職員一人ひとりがケアの質の向上を図るためのトレーニングが不足している。 2. 研修機会を増やす必要がある。	内外の研修等の参加により、ケアの質の向上のための知識を身につけることができる。	1. 年間計画に沿った研修派遣やOJTを開催し、伝達講習にて全職員が知識を身につける。 2. 勉強会の方法や内容を改善し、目的と意図のあるものにする。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。